

「手が届き、無理なく始められるS-DX」を共に学ぶ

「JA-DX推進研究会」 入会のご案内

我が国で本格化したDX(デジタルトランスフォーメーション)は、
営農経済事業をはじめとするJAの事業革新や組織基盤を
活性化する新たな動力となる可能性を持っています。

一方で、JAでは「関心はあるが、何をどう進めたらいいかわからない」
といった声が多数上がっています。

デジタル化やDXについて、

JA業務の実態や組織活動上の課題とリンクさせながら、
一から基礎を学び、相談し、ノウハウを共有する場として、
志のあるJAが主体となって「JA-DX推進研究会」に参加しています。

研究会の目的

1

JAの組織基盤、
事業・活動を強くするための
デジタル化の研究

2

無理せず、
手が届く「S-DX」を中心とした
実装研究

3

デジタル人材の
育成とネットワーク化

年会費 3万円

対象 JA、都道府県中央会・連合会、JAグループ関連企業

申し込み

右のQRコードをスマートフォンのカメラで読み込み、LINE公式アカウント「日本農業新聞」を
友だち追加の上、必要情報をご入力ください。

または、タブレット、スマートフォンより、下記のURLにアクセスしてください。

<https://line.me/ti/p/%40187isopu>

LINE
公式アカウント



企業、団体の皆さまへ

本研究会の趣旨にご賛同いただけるサポーター企業を募集しています。

1. 会員向け情報を受け取ることができます。
2. 会員に対して(SNS等)を活用して情報を発信することができます。
3. 本研究会の了承を得てワークショップなどに参加できます。
4. JA-DX推進研究会サポーター企業として日本農業新聞本紙広報企画「JA-DXシリーズ」に年1回、広告を掲載できます。

申し込みは日本農業新聞LINE公式アカウントにて受け付けています。

※活動内容は裏面をご覧ください。

活動計画

「自主的な学びの場」「悩み事が相談できる場」をモットーに運営します。アンケートや会員のニーズに基づいて研究テーマを設定します。

1. 現場課題の洗い出しや悩み事を語り合うワークショップの開催

デジタル担当責任者が集まり、デジタル化したい業務の洗い出しや悩み事などをざっくばらんに話し合います。テーマ別ワークショップやセミナーテーマも協議します。



2. S-DXセミナーの開催

スモールDXを実践するためのセミナーを年に数回開催します。



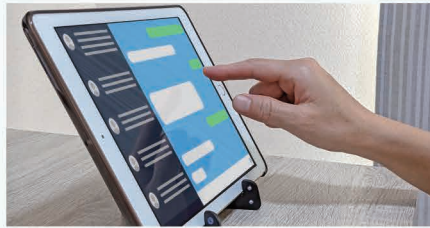
3. 実装のファーストステップをサポートする出前授業の実施

S-DXを実装したいJAに専門講師を派遣します。



4. デジタル人材の育成とネットワーク化

JA役員向け、職員向けリスティングセミナーの開催や先進地の視察、ITソリューションの研究などを行います。先進事例の共有や会員間の交流を図るSNSを展開します。



5. 広報活動

日本農業新聞紙上で本研究会の活動を周知する広報企画「JA-DXシリーズ」を掲載します。



※1 S-DXセミナーやワークショップ、リスティングセミナーなどは参加者の受講料により運営します。
※2 JAへの出前授業や先進地視察は別途費用が必要です。

JA-DX推進研究会の運営イメージ

